



kuraray
Possible starts here

Kuraray Report 2023

クラレレポート 2023

世のため人のため、
他人(ひと)のやれないことをやる



「クラレレポート 2023」の発行にあたって

クラレグループでは株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに、クラレグループの中長期的な価値創造について、より一層の理解を深めていただけるよう、2018年から「クラレレポート」を発行しています。

2022年からは、創立100周年を迎える2026年までの中期経営計画「PASSION 2026」を実行しており、クラレグループが事業活動を通じて、どのように社会的責任を果たし、社会に貢献していくのかを、本レポートを通じてご説明しています。

「クラレレポート 2023」の編集にあたっては、IFRS財団による国際統合報告フレームワークと、経済産業省による価値協創のための統合的開示・対話ガイダンスなどを参照し、当社グループの横断的な考え方を集約した上で作成しました。

今後も「クラレレポート」をエンゲージメントツールの一つとしてステークホルダーの皆さまと建設的な対話を進めるとともに、顧客、社会、地球に貢献し、持続的に成長するスペシャリティ化学企業として企業価値向上に邁進していきます。

ナビゲーションボタンの使い方

≡ 目次に移動

< 前のページにもどる

> 次のページにすすむ

➤ PDF内リンク

🖨️ WEBリンク

編集方針

「クラレレポート」では、クラレグループの持続的な価値創造に関する取り組みについて、財務情報とESGに関する非財務情報をまとめた編集としています。

「クラレレポート 2023」はGRIスタンダードを参照しており、対照表をウェブサイトに掲載しています。

(☞ <https://www.kuraray.co.jp/csr/report2023/guidelines>)

製品、事業などに関するより詳細な情報は、当社ウェブサイトをご覧ください。なお、タイトル部分の年号は発行年としています。

- ※ 本レポートに記載した当社財務データはすべて連結ベースです。
- ※ 本レポートに記載した億円単位の当社財務データ(実績値)は、億円未満を四捨五入して表示しています。
- ※ 本レポートに記載されている予想・見通しは、将来の事業環境・経済状況などに関する現時点での仮定・推測に基づいており、実際の業績等はこれと異なる結果となる場合もあります。

【報告対象期間】

2022年1月1日～2022年12月31日

※一部、2023年1月以降の情報も含まれます。

【報告対象範囲】

株式会社クラレおよびクラレグループ会社

※ 本レポートでの〈〉表記は、クラレグループの商標または登録商標です。

情報開示体系

◆ウェブサイト



企業情報全般

☞ <https://www.kuraray.co.jp/>

財務情報 非財務情報

企業情報や、製品サービス、研究開発、IR・財務、サステナビリティ、採用情報、ニュースリリースなど、クラレグループに関する情報全般を開示しています。



投資家の皆様へ

☞ <https://www.kuraray.co.jp/ir>

財務情報



クラレグループの経営方針、中期経営計画、各種説明会資料、業績関連データなどについて情報を開示しています。

サステナビリティウェブサイト

☞ <https://www.kuraray.co.jp/csr>

非財務情報



クラレグループのマテリアリティやサステナビリティ中期計画、サステナビリティ関連データなどについて情報を開示しています。

◆クラレレポート(統合報告書)

☞ https://www.kuraray.co.jp/csr/report_backnumber



財務情報

非財務情報

クラレグループの持続的な価値創造に関わる重要な財務・非財務情報を優先的に掲載しています。より幅広い網羅的な情報や詳細データについてはウェブサイトをご参照ください。



Contents

| | |
|-------------------|----|
| At a Glance | 03 |
|-------------------|----|

イントロダクション

クラレグループのDNAや社会的課題・経済発展への貢献の歴史、今後注力していくターゲット領域などについてご紹介しています。

| | |
|--------------------------|----|
| 企業ステートメント／タグライン | 05 |
| クラレグループのDNAと培ってきた強み..... | 06 |
| 社会的課題解決の軌跡 | 07 |
| 5つのメガトレンドとターゲット領域 | 09 |
| グローバルポートフォリオ | 10 |

クラレグループの価値創造

クラレグループの事業基盤となる6つの資本をもとに、社会との価値共創に向けてどのように取り組んでいるのかをご紹介します。

| | |
|--|----|
| トップステートメント | 11 |
| 価値創造プロセス | 17 |
| 資本強化に向けて..... | 18 |
| 社会との価値共創に向けて① ビジョン実現へのロードマップ | 19 |
| 社会との価値共創に向けて② 事業ポートフォリオの高度化..... | 21 |
| 社会との価値共創に向けて③ 「社会・環境価値」の可視化・定量化..... | 23 |

3つの挑戦

中期経営計画「PASSION 2026」期間中に取り組む3つの挑戦についてご紹介しています。

| | |
|---|----|
| ① 機会としてのサステナビリティ | 25 |
| サステナビリティを事業創出の機会として捉え、3つのP (Planet、Product、People) で定義した各施策をご紹介します。 | |
| Planet | 26 |
| Product | 28 |
| People..... | 30 |
| ② ネットワーキングから始めるイノベーション | 33 |
| 社内外の有機的な連携によりイノベーション創出を図る取り組みをご紹介します。 | |
| ③ 人と組織のトランスフォーメーション | 37 |
| デジタル活用による組織・プロセスの変革についてご紹介しています。 | |

社員座談会

| | |
|----------------------------|----|
| —3つの挑戦を通じ、新たな価値の創造へー | 40 |
|----------------------------|----|

事業・成長戦略

社会との価値共創に向けたセグメント別の戦略および持続的な成長戦略についてご紹介しています。

セグメント別戦略

| | |
|---------------|----|
| ビニルアセテート..... | 43 |
| イソブレン..... | 45 |
| 機能材料 | 47 |
| 繊維..... | 49 |
| トレーディング..... | 50 |

持続的な成長に向けて

| | |
|------------------|----|
| 財務担当役員メッセージ..... | 51 |
| 財務・非財務ハイライト..... | 53 |

経営基盤

企業経営の公正性が担保された意思決定、事業活動を支えるガバナンス体制についてご紹介しています。

| | |
|--------------------------|----|
| コーポレート・ガバナンス..... | 55 |
| 役員一覧..... | 60 |
| リスクマネジメント・コンプライアンス | 63 |
| 社外役員メッセージ | 65 |

会社データ

| | |
|-------------------------------|----|
| 会社概要／株式情報／ESG指数への組み入れ状況 | 66 |
|-------------------------------|----|